

エネルギーキャリア推進委員会（第7回）議事要旨

1. 日 時 平成29年1月6日（金） 10:00～12:00
2. 場 所 中央合同庁舎8号館6階 623会議室
3. 出席者：（敬称略）
 - <総合科学技術・イノベーション会議>
 - 久間 和生 常勤議員、SIP ガバニングボード議長
 - <議長、プログラムディレクター>
 - 村木 茂 東京ガス株式会社 常勤顧問
 - <サブプログラムディレクター>
 - 秋鹿 研一 放送大学 客員教授
 - 塩沢 文朗 住友化学株式会社 主幹
レスポンシブルケア部 気候変動対応（兼）技術・研究企画部
 - <外部有識者>
 - 相澤 益男 (国研)科学技術振興機構 顧問
 - 江口 浩一 京都大学大学院 工学研究科 物質エネルギー化学専攻 教授
 - 河合 大洋 トヨタ自動車株式会社 技術統括部 主査 担当部長
 - 橋川 武郎 東京理科大学大学院 イノベーション研究科 教授
 - 栗山 信宏 (国研)産業技術総合研究所 電池技術研究部門 副研究部門長
 - 斎藤 健一郎 JXリサーチ株式会社 執行役員 エネルギー技術調査部長
 - <関係省庁>
 - 鈴木 健志 消防庁 危険物保安室 課長補佐
 - 小野 真沙美 文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課 専門官
 - 片山 弘士 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギーシステム課 水素・燃料電池戦略室 室長補佐
 - 岡田 武 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 課長
 - 村山 昌平 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 産業技術総括調査官
 - 田淵 一浩 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課長
 - 池本 忠弘 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐
 - 松岡 禎典 環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課 課長補佐
 - <関係法人>
 - 大平 英二 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部 主任研究員
 - <管理法人>
 - 古賀 明嗣 (国研)科学技術振興機構 環境エネルギー研究開発推進部 部長
 - 宮崎 進 (国研)科学技術振興機構 環境エネルギー研究開発推進部 技術主幹
 - <事務局>
 - 鷹觜 利公 内閣府 科学技術・イノベーション担当 ディレクター
 - 谷口 慎一 内閣府 科学技術・イノベーション担当
4. 議題【非公開】
 - (1) 進捗状況報告
 - (2) アンモニアをはじめとしたエネルギーキャリア実用化調査報告
 - (3) SIP 成果の国際展開について
 - (4) 平成28年度の自己点検結果および平成29年度計画について

5. 配付資料【非公開】

- 資料 1－1 アンモニア直接燃焼（微粉炭混焼発電技術）
- 資料 1－2 アンモニア直接燃焼（工業炉技術）
- 資料 2 アンモニアをはじめとしたエネルギーキャリア実用化調査中間報告
- 資料 3 SIP 成果の国際展開に向けた現在の状況について
- 資料 4－1 PD 自己点検説明資料
- 資料 4－2 PD による自己点検
- 資料 4－3 平成 29 年度計画の概要（案）
- 資料 4－4 平成 29 年度予算要望額（案）

- 参考資料 1 管理法人による年度末自己点検
- 参考資料 2 運営・評価委員会名簿
- 参考資料 3 H28 年度 運営評価委員会での評価まとめ

6. 議事内容

・久間議員挨拶

明けましておめでとうございます。本日はお正月早々、第 7 回推進委員会にご出席頂きまして、ありがとうございます。開会に当たり、ご挨拶申し上げます。

SIP は、我が国の産業、社会にとって、何としても成功させねばならない 11 の重要課題に対し、日本を代表する PD のリーダーシップの下、省庁連携、産学官連携で、「基礎研究から実用化・事業化までを一気通貫」で行うものです。また「知財・標準化戦略、規制・制度改革など」を一体的に実施するプログラムです。SIP の役割は「産業競争力強化、新産業創出、社会実装」であることを常に意識して推進して頂くようお願いします。

SIP が始まって今年度で 3 年目を迎え、SIP5 年間の折り返しも過ぎております。今年度は、SIP 終了後の実用化・事業化の目途を立てるべき、重要な年です。特に加速するテーマ、減速するテーマ、中止するテーマ、追加するテーマを正しく選択するとともに、SIP 終了後の研究開発拠点なども検討して頂くようお願いします。

また、昨年度から開始した「第 5 期科学技術基本計画」では「Society5.0」の概念を提唱し、その実現を目指します。SIP の各課題も、「Society5.0」実現に向けた取り組みを、積極的に推進して頂きたく思います。

さて、『エネルギーキャリア』は、COP21 で言及された「気温上昇 2℃目標」の達成、およびエネルギーセキュリティの確保という点において、極めて重要な課題です。そのため、一日でも早く、実用化に目途を立て、我が国のエネルギー・環境問題の解決に貢献して頂きたいと考えております。

本日は、今年度の研究開発成果と PD の自己点検結果の報告、次年度計画の概要について説明があります。SIP 終了時のアウトプットとアウトカムの目標を明確にして、現時点での進捗状況や、目標達成に向けた課題、来年度の計画も示して頂くようお願いします。

本日、ご出席の皆さまは、本課題が一層充実した成果を出せるように、忌憚のないご意見を出して頂きたいと思っております。

以上をもちまして、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひ致します。

- (1) 進捗状況報告【非公開】
- (2) アンモニアをはじめとしたエネルギーキャリア実用化調査報告【非公開】
- (3) SIP 成果の国際展開について【非公開】
- (4) 平成 28 年度の自己点検結果および平成 29 年度計画について【非公開】

議事内容及び資料に非公表の技術情報を含むため、非公開での開催とした。

以 上